


これからの高齢者人口が増加する社会を考えると、在宅医療はますます必要になり、医療側はそれを充実させなければならないと考えます。当院でも訪問診療、訪問看護という在宅医療の提供は行ってはいますが、それだけではなく、開業医の先生方と一緒に在宅医療を取り組んでいます。

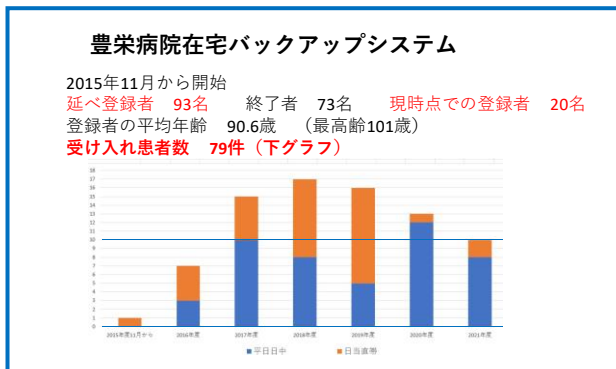
在宅医療を行える“と発言され、また実際にこのシステムで当院に緊急入院された事のある患者家族の方 2 名からは”急変時対応が担保されているため、安心して在宅医療を受けることができている“といわれ、このシステムが高評価を得ている事がわかりました。

在宅医療とは

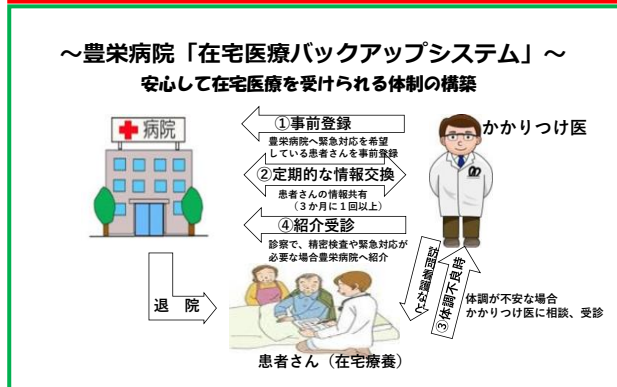


通院が困難な方で、住み慣れた自宅で療養生活を過ごしたいと希望された場合、自宅に訪問して診療や治療を行い、その方の療養生活を支えることです。

在宅医療を受けている方も、必要に応じて入院治療が受けられます。



実際にこのシステムを使っでの患者さんの受け入れ状況ですが(上図)、今まで79名の患者さんの受け入れがあり、年間では15名前後となっています。



新潟市北区(およびその周辺地域)の住民の皆様方が、高齢になり・様々な不自由が生じて、自宅で生活したいというご希望があれば、その希望を叶えるため、当院は開業医の先生方と協力・連携し、在宅医療を支えようと思います。

当院では、“豊栄病院在宅医療バックアップシステム”と称し、新潟市北区の開業医の医師が在宅医療を行っている方のうち急変などの可能性がある患者様を事前に当院に登録していただき、実際その患者さんが夜間や休日に状態が急変したときに、すぐに当院で診察・入院することができる体制を2015年11月に構築しました。

当院かかりつけの患者様で、在宅医療を受けたい希望があれば、まずは主治医にご相談ください。当院医師が訪問診療を行わせていただくか、他の訪問診療を行っている開業医の先生を紹介するなど、在宅医療に繋がりたいと思います。また当院の患者総合支援センター、地域包括支援センターや区役所健康福祉課などに相談いただいてもよいと思います。当院以外の開業医にかかっている患者さんも、こうしたバックアップの仕組みがありますので、医療を受ける選択肢の一つとして、在宅医療も考えてください。

先日(6月18日)に新潟市北区の医療と介護のささえあいネット(通称ござれやネット)総会が開催されました。その会で、当院の在宅バックアップシステムについての講演・議論がなされました。開業医の先生方からは“このシステムがあるおかげで安心して在

発行責任者; 豊栄病院病院長 宮島 透